

ユーザーズマニュアル

日本語

***Permobil*、R-ネット
(PJSM)**

CE

はじめに

この取扱説明書は Permobil、R-ネット (PJSM) 操作パネルの機能を解説し、また電動車いすの取扱説明書を構成する一部となっています。

電動車いすとその付属品に同梱されている全マニュアルのすべての指示と警告を読み、それに従ってください。誤った使用は使用者を傷つけ、車いすを傷つける可能性があります。これらの危険を緩和するために、ドキュメンテーションをすべて注意深くお読みください。特に安全についての指示および関連する警告表示に注意してください。

使用を始める前に、車いすと付属品の各種ボタン、機能およびステアリング制御や、座席調節の可能性等の確認に、十分な時間をとっていただくことは、極めて重要です。

情報、図、イラストおよび仕様はすべて、これらの取扱説明書が作成された時点で利用可能な製品情報に基づきます。これらの取扱説明書の中で使用される図とイラストは代表的な例であり、具体的な部品の正確な描写としては意図されていません。

当社には事前通知無しに製品に変更を行なう権限があります。

Permobilが作成および発行

バージョン: 1

日付: 2019-12-18

発注番号: 336774 jpn-JP

ペルモビールグループ本社

Permobil AB
Per Uddéns väg 20
861 36 Timrå
スウェーデン

電話 : +46 60 59 59 00
ファックス: +46 60 57 52 50
Eメール : info@permobil.com
URL: www.permobil.com

1	警告	9
2	R-net用のペルモビールジョイスティックモジュール.....	11
2.1	充電ソケット	13
2.2	ボタンおよびパドルスイッチ	13
2.3	ジャックソケット	18
2.4	ディスプレイ	18
2.5	Bluetooth® モード	29
2.6	IR モード	42
2.7	制御システムのロックとロック解除	53
2.8	座席の機能	54

1 警告



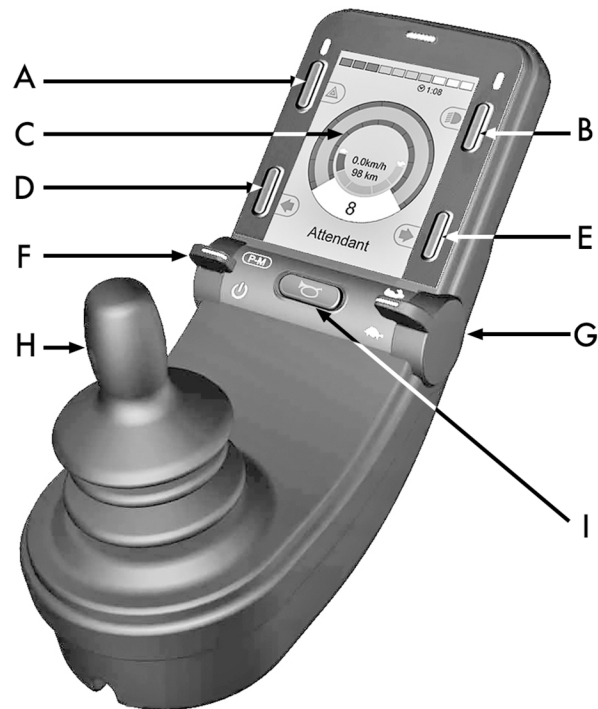
警告！

環境条件

雨、雪、泥、水しぶきなど、あらゆる種類の水分に車いすをさらさないようにしてください。

カバーやジョイスティックブーツにひび割れや裂け目がある場合は、ただちに交換する必要があります。これを怠ると湿気が電子装置に入る可能性があり、怪我や火災を含む所有物の損害の原因になります。

2 R-net用のペルモビールジョイスティックモジュール



- A. ハザードランプのオンまたはオフ。
- B. ヘッドライトのオンまたはオフ。
- C. 画面。
- D. 左方向指示灯。
- E. 右方向指示灯。
- F. 主電源オンまたはオフ、モードあるいはプロフィール・セクター。
- G. 最大速度パドル、減少または増加。
- H. ジョイスティック。
- I. ホルンボタン。

図 1. ペルモビールジョイスティックパネル、2.8"カラーディスプレイ

前のページの概要図には操作パネルの基本機能が表示されています。全てのボタン、切り替えスイッチおよびジョイスティックには追加機能がある可能性があります。

充電ソケットはパネルの前部にあります。

図 2 充電ソケット

パネルの根元にジャックソケットが2つあります。一つには外部のOn/Offスイッチ用であり、もう一つは外部のプロファイルスイッチ用として想定しています。

図 11 ジャックソケット。

また、車いすには操作パネルの他に座席操作パネルが装備されている場合があります。

2.1 充電ソケット

このソケットは車いすを充電したり、車いすをロックしたりする場合のみに使用するものです。このソケットにはいかなる種類のプログラミングケーブルも接続しないでください。ソケットを他の電動デバイスの電源として使用しないでください。他の電気機器を接続すると、制御システムが損傷したり、車いすのEMC（電磁両立性）性能に影響を与えたりする可能性があります。



通知

提供されたバッテリー充電器のみを使用してください

車いすと一緒に提供されたバッテリー充電器以外の何らかのデバイス、またはロックキーが操作パネルの充電器ソケットで接続された場合、車いすの保証は無効になります。

2.2 ボタンおよびパドルスイッチ

操作パネルには、合計5個のボタンおよび2個のパドル・スイッチがあります。

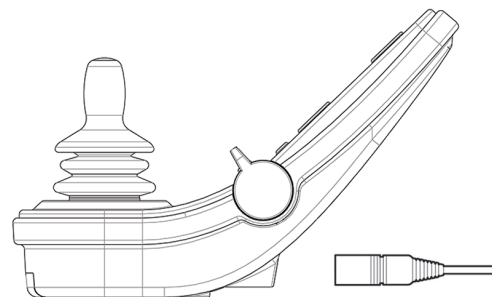


図 2. 充電ソケット

2.2.1 電源、モードおよびプロフィールパドル

パドルスイッチは制御システムをONまたはOFFに切り替えるために使用されます。

電源をONにするにはパドルを前に押し、電源をOFFにするにはパドルを後ろに引いてください。

パドルスイッチは使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするために使用することもできます。使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするにはパドルを前に押ししてください。

- i** お使いのパネルに切り替えスイッチの初期バージョンが図4のように装備されている場合、下記の説明に従ってください。

電源をONまたはOFFに切り替えるには、パドルスイッチを引きよせてください。

パドルスイッチは使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするために使用することもできます。使用可能なプロフィールとモードの間をスクロールするにはパドルを前に押ししてください。



図 3. 電源、モードおよびプロフィールパドル。

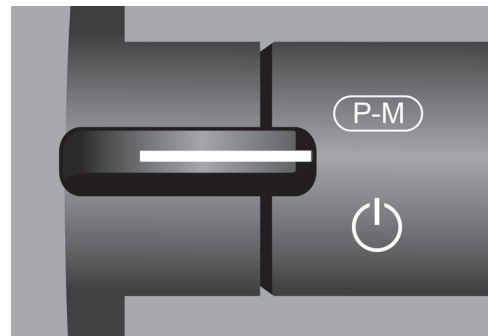


図 4. 電源、モードおよびプロフィールパドルスイッチ、初期バージョン。

2.2.2 最大速度パドル

このパドルは車いすの最大速度を減少または増加します。ディスプレイ上の最大速度インジケータは現在の設定を表示しています。設定を上げるにはパドルを前に押し、設定を下げるにはパドルを後ろに引いてください。

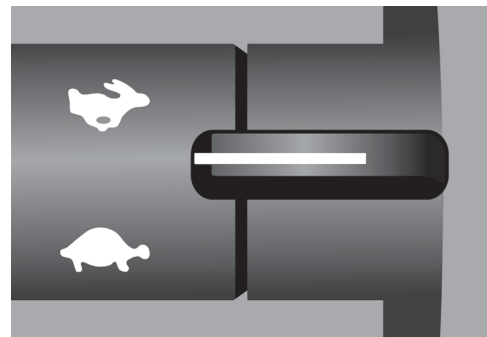


図 5. 最大速度パドル、減少または増加。

2.2.3 ホーンボタン

このボタンが押されている間、ホーンが鳴ります。



図 6. ホーンボタン。

2.2.4 機能ボタン

ディスプレイの左側と右側に合計4つのボタンがあります。ディスプレイ上のシンボルは現在のボタン機能を表示します。

2.2.4.1 危険警告ボタンおよび画面シンボル

(i) 車いすにライトが取り付けられている場合にのみ有効です。

このボタンは車いすのハザードライトをONまたはOFFに切り替えます。ハザードライトは車いすが他人に対して障害物になるような位置にある場合に使用されます。ハザードライトをONにするにはボタンを押し、OFFにするにはボタンをもう一度押ししてください。有効になると、画面上のシンボルが車いすのハザードライトと同期するように点滅します。



図7. 危険警告ボタンおよび画面シンボル。

2.2.4.2 ライトボタンおよび画面シンボル

(i) 車いすにライトが取り付けられている場合にのみ有効です。

このボタンは車いすのライトをONまたはOFFに切り替えます。ライトをONにするにはボタンを押し、OFFにするにはボタンをもう一度押ししてください。ONにすると、画面上のライトシンボルが点灯します。



図8. ライトボタンおよび画面シンボル。

2.2.4.3 左方向指示灯ボタンおよび画面シンボル

i 車いすにライトが取り付けられている場合にのみ有効です。

このボタンは車いすの左方向指示灯をONまたはOFFに切り替えます。方向指示灯をONにするにはボタンを押して、OFFにするにはボタンをもう一度押してください。有効になると、左折画面シンボルが車いすの方向指示灯と同期するように点滅します。



図 9. 左方向指示灯ボタンおよび画面シンボル。

2.2.4.4 右方向指示灯ボタンおよび画面シンボル

i 車いすにライトが取り付けられている場合にのみ有効です。

このボタンは車いすの右方向指示灯をONまたはOFFに切り替えます。方向指示灯をONにするにはボタンを押して、OFFにするにはボタンをもう一度押してください。有効になると、右方向指示灯の画面シンボルが車いすの方向指示灯と同期するように点滅します。



図 10. 右方向指示灯ボタンおよび画面シンボル。

2.3 ジャックソケット

外部の On/Off 切り替えジャック (A) はユーザーがバディボタンのような外部デバイスを使用して制御システムを ON または OFF に切り替えられるようにします。

外部のプロフィール切り替えジャック (B) はユーザーがバディボタンのような外部デバイスを使用してプロフィールを選択できるようにします。運転中にプロフィールを変更するには、このボタンを押すだけです。

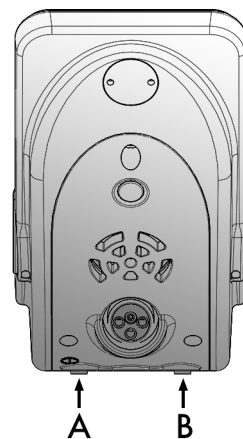


図 11. ジャックソケット。

2.4 ディスプレイ

制御システムのステータスはディスプレイで表示されている場合があります。ディスプレイのバックライトが点いている場合、制御システムは ON になっています。

2.4.1 画面シンボル

R-net運転画面には常に表示される共通部分と特定の条件下のみで表示される部分があります。

- A. 速度計
- B. プロフィール名
- C. バッテリーインジケータ
- D. 時計
- E. 最大速度インジケータ
- F. 現在のプロフィール

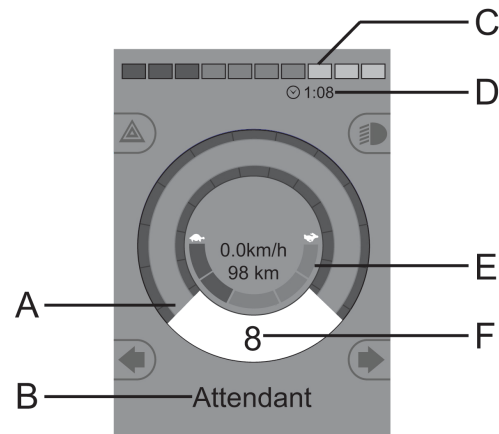


図 12. プロフィール8に設定された場合の運転画面。

2.4.2 バッテリーインジケータ

これは使用可能なバッテリー充電を表示し、ユーザーにバッテリーの状態について警告するために使用できます。

- 安定して点灯: 問題なし。
- ゆっくり点滅: 制御システムは適切に機能していますが、できるだけ早くバッテリーを充電してください。
- ステップアップ点滅: 車いすバッテリーが充電中です。充電器を外し、制御システムを再度OFFからONに切り替えるまでは車いすを運転できません。



ディスプレイにバッテリーの状態が表示されます (左から右)。

赤、黄、緑	充電完了
赤、黄	半充電
赤	バッテリーの充電

図 13. バッテリーインジケータ。

2.4.3 最大速度インジケータ

これは現在の最大速度設定を表示します。

最大速度設定はスピードパドルを使って調整します。



図 14. 最大速度インジケータ。

2.4.4 現在のプロフィール

プロフィール番号は、制御システムが現在どのプロフィールで作動しているか説明します。プロフィール・テキストは、制御システムが現在作動しているプロフィールの名前または説明です。



図 15. 現在のプロフィール。

2.4.5 インフォーカス

二次ジョイスティックモジュールやデュアルアテンダントモジュールなど、コントロールシステムに複数の直接コントロール方法が含まれている場合は、車いすをコントロールするモジュールに「インフォーカス」記号が表示されます。



図 16. インフォーカス。

2.4.6 制限速度

車いすの速度が制限された場合（例えば座席を高くした場合など）このシンボルが表示されます。車いすの運転が禁止されている場合、このシンボルが点滅します。



図 17. 制限速度。

2.4.7 再起動

制御システムの再起動が必要な場合、モジュールの再設定などではこのシンボルが点滅します。



図 18. 再起動が必要です。

2.4.8 制御システムの温度

このシンボルが表示されると、安全機能が作動したことを意味します。この安全機能はモーターへの電力供給を減らし、制御システムがクールダウンすると自動的にリセットします。このシンボルが発生した場合は、ゆっくり運転するか車いすを止めてください。制御システムの温度が上昇し続けると、制御システムのクールダウンが必要な水準に達する可能性があります。その水準では運転することはできなくなります。



図 19. 制御システムの温度

2.4.9 モーターの温度

このシンボルが表示されると、安全機能が作動したことを意味します。この安全機能はモーターへの電力供給を減らし、特定の期間後に自動的にリセットします。システムがリセットされると、このシンボルは消えます。このシンボルが発生した場合は、ゆっくり運転するか車いすを止めてください。車いすに余計な力がかかる事を防ぐために、ペルモビールはシンボルが消えた後に短い期間、ゆっくり運転する事をお勧めします。シンボルが数回発生し、車いすがで述べられているいかなる条件下でも運転されていない場合、車いすに不具合が生じている可能性があります。担当のサービス技術者までお問い合わせください。



図 20. モーターの温度。

2.4.10 砂時計

このシンボルは制御システムが状態を変えている時に表示されます。例としては、プログラミングモードに切り替わる場合などです。シンボルは砂が流れ落ちるアニメーションを表示します。



図 21. 砂時計。

2.4.11 緊急停止

制御システムがラッチドライブあるいはアクチュエータ動作に対してプログラムされる場合、通常緊急停止スイッチは外部プロフィール・スイッチジャックに接続されます。緊急停止スイッチが操作された、または接続を外された場合、このシンボルは点滅します。



図 22. 緊急停止。

2.4.12 設定メニュー

設定メニューではユーザーが時計、画面の明るさ、背景色などを設定できます。

メニューを開くにはハザードランプボタンを2秒間押してください。ジョイスティックを前後に動かしてメニュー内をスクロールしてください。

ジョイスティックを右に倒せば、関連する機能オプションを含むサブメニューが表示されます。

メニュー下部にある 終了を選択してから設定メニューを終了してから、ジョイスティックを右に動かしてください。

メニューの項目は下記のセクションで説明されています。

2.4.12.1 時刻

下記のセクションは時刻に関するサブメニューを説明します。

時刻を設定

ユーザーが時刻を設定できます。

時刻を表示

ここでは時刻表示の形式を設定したり、OFFに切り替えたりします。12時間表示、24時間表示またはOFFを選べます。

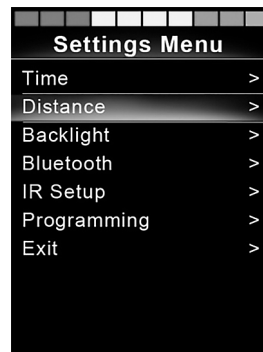


図 23. 設定メニュー。

2.4.12.2 距離

下記のセクションは距離に関するサブメニューを説明します。

- 合計距離** この値は電源モジュール内に保存されません。現在の電源モジュールがシャシーに取り付けられてから走った合計距離に関係しています。
- トリップ距離** この値はジョイスティック・モジュールに保存されています。これは最後のリセット以来運転された全距離に関係します。
- 距離の表示** 合計距離またはトリップ距離のどちらが走行距離計としてジョイスティックモジュールに表示されるか設定します。
- トリップ距離をクリアする** ジョイスティックを右に動かすとトリップ距離の値がクリアされます。

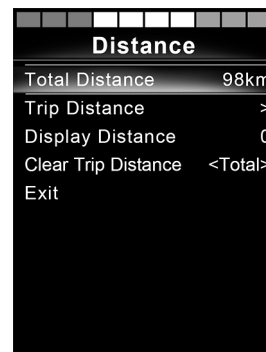


図 24. 距離測定

2.4.12.3 バックライト

下記のセクションはバックライトに関するサブメニューを説明します。

バックライト	ここでは画面のバックライトを設定します。0%～100%の間で設定できます。
自動バックライト	ジョイスティックモジュールには、画面の明るさを自動的に調整するための周囲光センサーがあります。プログラム可能なオプションはOffまたはOnです。Onに設定すれば、光センサーが測定した値に基づいて画面の明るさを調整します。Offに設定すると、光の強さが変化してもスクリーン輝度は変化しません。
バックライト期間	これは、入力デバイスからそれ以上の指示を受けなくなってからバックライトが点いたままている期間を調整します。0～240秒の間で調整することができます。

2.4.12.4 Bluetooth®

① 内蔵Bluetooth®を装備する操作パネルに適用します。

ジョイスティックを右に動かすと、Bluetooth®モード画面を設定するためのサブメニューに入ります。詳細については、Bluetooth®モードの章を参照し、ページ 29を参照してください。

2.4.12.5 IR 設定

① 内蔵IR (赤外線) を装備する操作パネルに適用します。

ジョイスティックを右に動かすと、IRコードの学習および削除するためのサブメニューに入ります。詳細については、IR (赤外線) モードの章ページ 42を参照してください。

2.4.12.6 プログラミング

下記のセクションはプログラミングに関するサブメニューを説明します。

スリープ	入力デバイスコマンドが受信されない場合に、制御システムがスリープ状態になるまでの時間を設定します。
音響機器の音量	ボタンが押されたことを示すために使用されている音響機の音量を設定します。
ホーンの音量	ホーンの音量を設定します。
スタートアップ ビーブ音	電源を入れたときにコントローラーが短い音を鳴らすか、鳴らさないかを設定します。操作パネルの最近のバージョンのみで利用可能です。
一時的な画面	プログラムされた一時的な画面が表示されるかどうかを設定します。
速度表示	車いす速度をどのように表示するか設定します。mph, km/h またはOffを選択できます。
ディスプレイ	デジタルドライブ表示方式を設定します;オプションは走行記録計、速度あるいは両方の表示です。

診断 ユーザーが制御システムから診断情報を確認できるようにします。

Diagnostics		Diagnostics	
PM 2.5	>	Center Joystick	4
Gyro 2.3	>	Bad Cable	7
ISM 1.94	>	M2 Brake Error	1
JSM 1.0	>	Low Battery	1

図 25. 診断画面のサンプル 2 つです。

タイマー ユーザーが今まで車いすが何時間間運転されたか確認できるようにします。

2.4.12.7 終了

設定メニューを終了します。

2.5 Bluetooth® モード

- ① ジョイスティックモジュール内蔵のBluetooth®を搭載した、3.5"または2.8"カラーディスプレイR-net操作パネルにのみ適用可能です。
 ジョイスティックモジュールは3,5"画面バージョンの画面の下にモードボタンおよびプロフィールボタンが装備されている点で異なります。2.8"画面付きのジョイスティックモジュールはよりコンパクトで、これらのボタンがありません。

2.5.1 一般

Bluetooth®を含む操作パネルが装備された状態で車いすが配達された場合、Bluetooth®機能は基本セットアップにプログラムされています。この設定は下記に説明されています。

基本セットアップは、最大4台のBluetooth®デバイス、2台のPCマウスまたはAndroid™デバイスと2台のiDevices®のペアリング用に準備されています。追加のツールは必要ありません。このセットアップはプログラミングキーとコンピューターにインストールされたR-netプログラマーを使用して再プログラムできます。この装置を使えば、例えば特定のデバイスを説明するテキストやアイコンの名前の変更、マウスコマンドの有効化、ナッジ時間の調整、カーソル速度の変更などができます。

2.5.2 デバイスとのペアリング

ペアリングする前に、デバイスを設定メニューからオンに設定する必要があります。下記の説明に従ってください。

2.5.2.1 設定メニュー

設定メニューを開くにはハザードランプボタンを2秒間押し
てください。Bluetooth®を選択します。

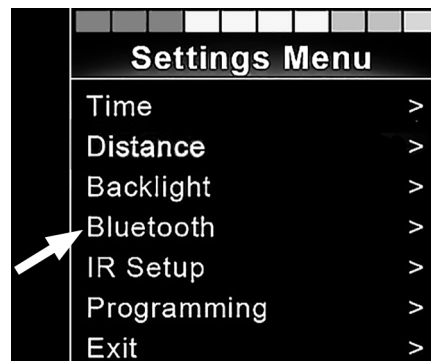


図 26. サブメニューにアクセスするにはBluetooth®
を選択してください。

図のように画面にサブメニューが表示されるようになりました。

装置を選びます。ジョイスティックを右に動かしてOn に設
定します。

R-netシステムの電源を入れなおしてください。

R-netプログラミングツールがインストールされたコン
ピューターを使用して各デバイスの名前を変更することがで
きます。

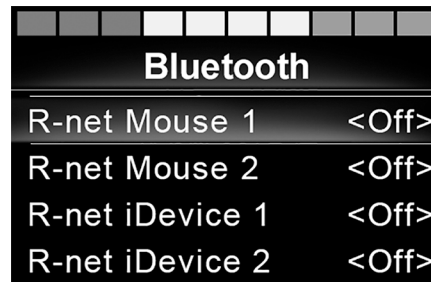


図 27. Bluetooth®サブメニュー

2.5.2.2 ペアリング設定

このシーケンスの説明に従って、操作パネルのBluetooth®に検出モードでアクセスする必要があります。

- ジョイスティックを前方向に動かして、音が聞こえるまでそのままにしてください。これはおよそ10秒かかります。その後手を離します。
- ジョイスティックを反対の方向に傾け、音が聞こえるまでそのままにしてください。これはおよそ10秒かかります。その後手を離します。

画面にはコンピューターの画像の上に点滅するBluetooth®アイコンが表示されます。これは操作パネルのBluetooth®が検出モードに設定されていることを示しています。これで他のBluetooth®デバイスを検出できるようになりました。

2.5.2.3 様々なデバイスとペアリング

ペアリングされる装置のタイプによって変わります。PC、Android™ デバイスまたはiDevice®など、接続したい装置で必要な手順に従います。

一部の手順を以下で説明しています。



図 28. 矢印は点滅しているBluetooth®アイコンを指しています。

2.5.2.4 PCとのペアリング

次の処理はPC上で実行する必要があります。

- PCに追加するBluetooth®デバイスを選択できるウィンドウを開きます。名前とパスは、Windowsのバージョンによって少し異なります。
- 要求に応じて、パスワード1234を入力してください。
- R-net Mouse Xが画面に表示されたら、クリックして接続を確定します。R-net マススがPCのデバイス一覧に表示されるようになります。
- 接続の確立後には操作パネル上のBluetooth®アイコンが点滅しなくなります。

2.5.2.5 Android™デバイスとのペアリング

次のプロセスはAndroid™デバイスで実行する必要があります

- システム設定を選択して、Bluetooth®をオンに設定します。
- 使用可能なデバイスの一覧からR-net Mouse Xを選択します。
- 要求に応じて、パスワード1234を入力してください。
- これでR-net Mouse Xがペアリングされたデバイスとして表示されるはずですが、

- 接続の確立後には操作パネル上のBluetooth®アイコンが点滅しなくなります。

2.5.2.6 iDevice®とのペアリング

次のプロセスはiDevice®実行する必要があります。

- 設定を選択して、Bluetooth®をオンに設定します。
- 有効なデバイスの一覧からR-net iDevice® Xを選択します。
- これでR-net iDevice® Xがペアリングされたデバイスとして表示されるはずです。
- 接続の確立後には操作パネル上のBluetooth®アイコンが点滅しなくなります。

2.5.2.7 デバイス一覧の更新

操作パネルには、最大4つのデバイスのBluetooth®IDが保管されています。デバイスリストのエントリーを置き換えるには、既存ペアリングのいずれかを削除する必要があります。このプロセスはペアリングされたデバイスから開始され、デバイスの種類によって異なります。

デバイスのペアリングが解除されると、新しいデバイスを追加できます。

2.5.3 Bluetooth®デバイスの操作

このセクションではBluetooth®内蔵の操作パネルが付属している車いすの基本設定について説明します。

2.5.3.1 Bluetooth®デバイスへのアクセス

下記のセクションはペアリングされているBluetooth®デバイスのいずれかにアクセスする方法について説明します。

2.5.3.2 Bluetooth®モードに入る

i 2.8"画面付きのジョイスティックモジュールはよりコンパクトで、モードボタンとプロフィールボタンがありません。

Bluetooth®モードに入るまで何度かモードボタン (A) ボタンを押すが、B キーを2秒以上押したままにしてBluetooth®モードM3に入ってください。



図 29. Bluetooth®デバイスにアクセスする2つの方法。

複数のBluetooth®デバイスがペアリングされ有効になっている場合は、接続と使用のためにBluetooth®デバイスを選択できる画面が表示されます。

1つだけのBluetooth®デバイスが有効になっている場合は、直接画面に表示されます。

ジョイスティックを前後に動かしてデバイス間を移動します。

ジョイスティックを右に動かしてデバイスを選択してください。

Bluetooth®デバイスを選択すると、選択したデバイスタイプを表すアイコンが画面に表示されます。

Bluetooth®デバイスが1つだけ有効になっている場合、この画面はBluetooth®モードが有効になるとすぐに表示されます。

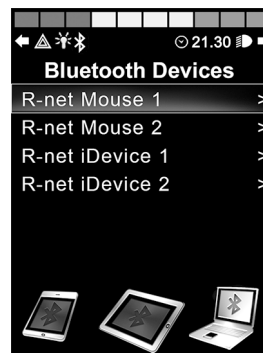


図 30. ペアリングされているデバイスが選択される Bluetooth® デバイス画面

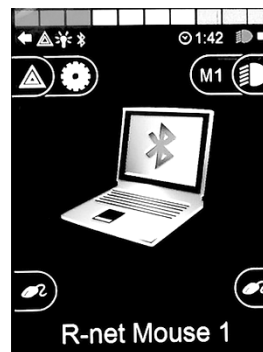
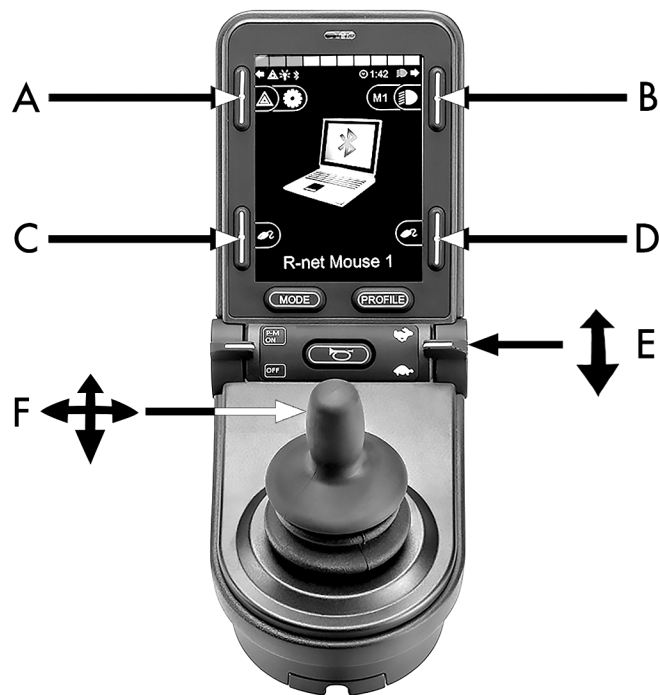


図 31. 選択された Bluetooth® デバイスです。

2.5.3.3 Bluetooth®モードでボタンを操作する



- A. 設定にアクセス、ページ 38。
- B. 運転モードに戻る、ページ 38。
- C. 左マウスクリック、ページ 39。
- D. 右マウスクリック、ページ 39。
- E. 上下にスクロール、ページ 39。
- F. ジョイスティック機能、ページ 40。

図 32. Bluetooth®モードで操作するためのボタンやその他のコントローラー。

Bluetooth®デバイスがBluetooth®モードで選択されている場合、先ほどの概要図に示すように、ボタンA〜D、パドルスイッチE、およびジョイスティックFには事前に定義された機能があります。これらの機能は以下で説明します。

2.5.3.4 A – 設定へアクセスする

2秒以上ボタンを押してください。これは設定メニュー (Setting Menu) を開きます。2.4.12 設定メニュー, Page 24を参照してください。

短く押すと、ハザードランプがオンまたはオフに切り替わります。



図 33. Bluetooth®モードで設定へアクセスするためのボタン。

2.5.3.5 B – 運転モードに戻る

2秒以上ボタンを押してください。これで車いすは運転モードになります。

短く押すとヘッドライトがオンまたはオフに切り替わります。



図 34. Bluetooth®モードから運転モードに戻るためのボタン。

2.5.3.6 C-左マウスクリック

ボタンを押してマウスの左クリックを実行します。



図 35. 左マウスクリック用の左ボタン。

2.5.3.7 D-右マウスクリック

ボタンを押して右マウスクリックを実行してください。



図 36. 右マウスクリック用の右ボタン。

2.5.3.8 E-上下にスクロール

スクロールアップするにはパドルを押してください。

スクロールダウンするにはパドルを引いてください。



図 37. Bluetooth®モードでは上下にスクロールするために右パドルを使用します。

2.5.3.9 F-ジョイスティック機能

ジョイスティックを動かして、カーソルを目的の方向に動かします。

前方にナッジして上にスクロールします。

後方にナッジして下にスクロールします。

左のマウス・クリック。左に軽く押します。

右のマウス・クリック。右に軽く押します。

i 軽く押す操作は「ナッジ」と呼ばれ、短くいっぱいまでスティックを曲げます。設定はプログラミング・ツールがインストールされたコンピューターを使用して、ニーズに合わせて変更することができます。



図 38. Bluetooth®を使用すると、ジョイスティックでマウス機能をコントロールできます。

2.5.4 注意 - Bluetooth® モードの設定は配達後に変更されています

ボタン、トグルスイッチまたはジョイスティック	機能

2.6 IRモード

i IR内蔵 R-netコントロールパネル、IR内蔵3.5"または2.8"カラーディスプレイにのみ適用可能です。

2.6.1 一般

ジョイスティック・モジュールと統合された赤外線制御では、テレビ、オーディオ、ケーブル、衛星あるいは環境管理リモコンのような一般に使用された赤外線装置をレプリケートします。赤外線コードはツールなしで学習を行うか、PCベースの赤外線コンフィギュレータ・ソフトウェアでロードします。IRコンフィギュレータのプログラミング機能は、コードを読み込むだけではありません。

このマニュアルでは学習方法のみを説明しています。

車いすはIRモードに対応していますが、出荷時にはシステム内にIRコードが保存されていません

2.6.2 IR セットアップ

赤外線セットアップ・メニューIR Setup は設定メニュー Settings Menuでアクセスすることができます。

2.4.12 設定メニュー, Page 24を参照してください。

IR セットアップに入ると、デフォルトの器具が表示されます。器具が選択されると、コマンドが表示されます。

コマンドの後にチェックマークが付いている場合は、そのコマンドに保存されているIRコードが存在していることを意味します。コマンドがチェックされていない場合、そのIRコードはまだ保存されていません。

以下のセクションで説明するように、IRコードは保存または削除することができます。

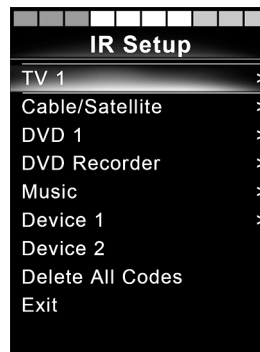


図 39. IR セットアップの画面。

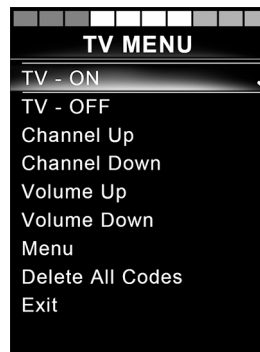


図 40. TV メニュー画面のコマンド。

2.6.3 IRコードを学ぶ

IRレシーバーはコントロールパネルの画面上にあり、図ではAとマークされています。

コードを学習するときには、IR送信機がコントロールパネル上のIR受信機（図中でAとマークされた小窓）を向くようにリモコンデバイスを持ってください。



図 41. IRレシーバーの位置。

2.6.3.1 IRコード手順を学ぶ

IRセットアップメニューに入る。

図のようにTV - (デバイス1)などの器具を選択します。

「(デバイス1)」は機器固有の名前が画面のどこに表示されるかを示します。

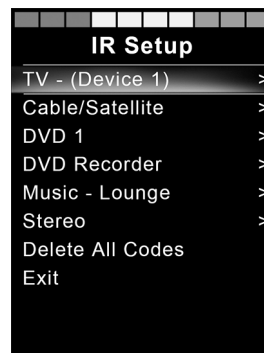


図 42. IRセットアップのサンプル。

器具のコマンドが図のように画面に表示されます。学ぶコマンドを選択します。

この例では、チャンネルを上げるChannel Up をテレビメニュー TV MENU から選択します。

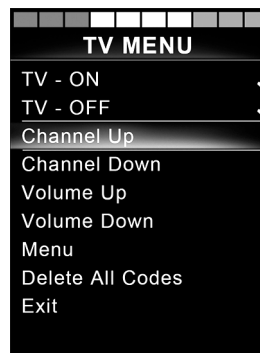


図 43. 器具が選択されたときに表示される画面。

コマンドが強調表示されている間にジョイスティックを右に動かして、コードの学習を選択します。

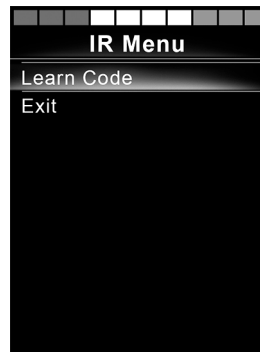


図 44. IR セットアップメニュー、コードの学習。

テレビのリモコンを操作パネルのIR受信機に向け、チャンネルアップボタンを2回押します。



図 45. リモコンをIR受信機に向けます。2回ボタンを押してください。

コードの学習操作が正常に完了すると、画面に緑色のチェックマークが表示されます。

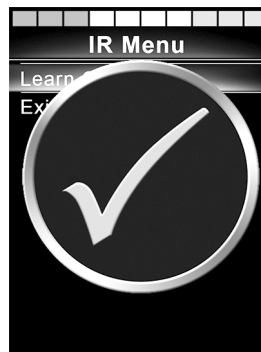


図 46. 学習操作は成功しました。

コードの学習Learn Code 操作が正常に完了すると、画面に赤色のチェックマークが表示されます。コードの学習操作をもう一度行ってください。



図 47. 学習操作は失敗しました。

コードを学習したら下にスクロールして、終了を強調表示します。器具メニュー IR セットアップへ戻るには、ジョイスティックを左に動かします。

- ① IRコードが初めて学習されたときは、操作パネルで電源を切ってから再び入れ直す必要があります。他のIRコードがすでに学習されている場合は、電源を切ってから再び入れ直す必要はありません。

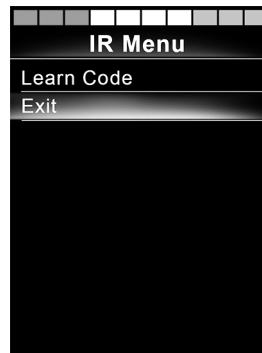


図 48. スクロールダウンして終了します。

2.6.4 シーケンスされたIRコードを学ぶ

IR セットアップメニューで、1つのコマンドに対して複数のIRコードを学習できます。これはIRモードである場合、一つのコマンドで複数のIRコードを送信できるようにします。

例：

1. テレビやDVDなど、複数の機器のオン/オフ機能は、IR セットアップメニューの単一エントリで学習できます。その後、操作パネルは学習したコマンドのコードを1回のバーストで送信します。この場合、テレビセットとDVDをほぼ同時にオンまたはオフに切り替えます。
2. 以前は、テレビチャンネルを選択するには、リストから個々のチャンネルの数字を選択する必要がありました。これでは、143チャンネルなどの複数桁のテレビチャンネルを選択しようとするときには非常に不便でした。これで数字1、4および3の個別コードはIR セットアップメニュー内の一つのコマンドで学習できます。IR セットアップメニュー内でこのコマンドが選択された場合、IRコードがほぼ同時に送信されます。

2.6.4.1 シーケンスを作る

- シーケンスイニシエータとして使用するコマンドを選択してください。この例では、TV-ON。
- コマンドが強調表示されている間にジョイスティックを右に動かして、コードの学習を選択します。
- テレビのリモコンを操作パネルのIR受信機に向け、オン/オフボタンを2回押します。
- 学習操作が成功するたびに画面に一時的にチェック画面が表示されるので、コードの学習をもう一度選択します。
- DVDのリモコンを操作パネルのIR受信機に向け、オン/オフボタンを2回押します。
- 学習操作が成功するたびに画面に一時的にチェック画面が表示されるので、コードの学習をもう一度選択します。
- 終了を強調表示してジョイスティックを左に動かし、シーケンスを完了します。
- これでTV-ONコマンドにチェックマークとその横に3つのドットが付き、学習したシーケンスが表示されます。

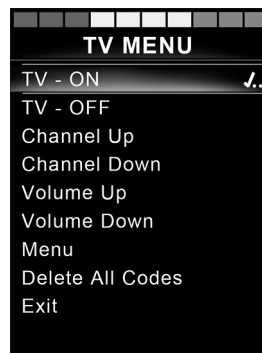


図 49. チェックマークの後に3つのドットが続き、学習したシーケンスを示します。

2.6.5 IRコードの有効化と無効化

IRコードはIR セットアップメニューで有効または無効にすることができます。コードが無効になっていると、送信されずIRモードでも表示されません。

IRコードを無効にするには、速度パドルを上下に動かします。強調表示されたコマンドに対して、無効なIRコードがXと一緒に表示されます。

IRコードを有効にするには、速度パドルを上下に動かします。有効なIRコードは強調表示されたコマンドに対してチェックマークと一緒に表示されます。

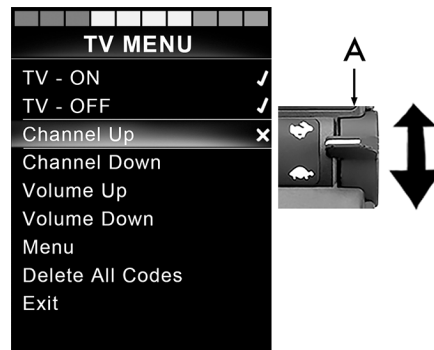


図 50. 画面とAとマークされた速度パドルスイッチ。

2.6.6 IRコードの削除

特定コマンドのIRコードを削除するには、機器メニューでそのコマンドを強調表示し、ジョイスティックを右に動かします。次に、コードの削除オプションを選択します。

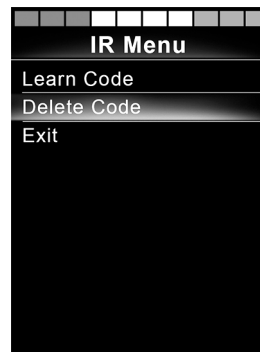


図 51. 特定のコマンドに対してコードを削除します。

機器の全IRコードを削除するには、その機器のサブメニュー内の全コードの削除を選択します。

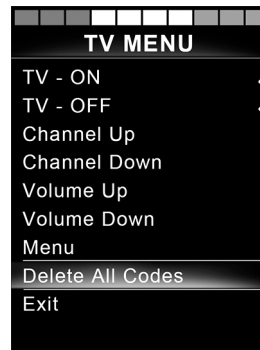


図 52. 特定機器の全コードを削除します。

操作パネルに保管されている全てのIRコードを削除するには、IR セットアップメニュー内の全てのコードを削除を選択してください。

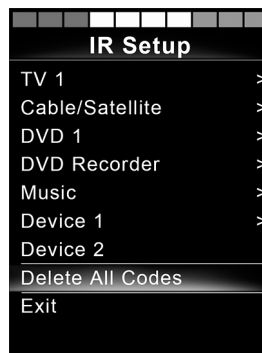


図 53. IR セットアップメニューからすべてのコードを削除します。

2.7 制御システムのロックとロック解除

2.7.1 ロック

- 制御システムのスイッチを入れて、パドルを後方へ移動させてください。
- 1秒後に制御システムがビープ音を鳴らします。今度はパドルをはなしてください。
- 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを前方に傾けてください。
- 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを後方に傾けてください。
- ジョイスティックをリリースすると長い信号音が鳴ります。
- これで車いすがロックされました。
- 車いすがオフに切り替えられました。



図 54. 車いすがロックされているときは、ロック記号が表示されます。

2.7.2 ロック解除

- 制御システムがオフになっている場合は、パドルを前方に動かしてください。
- 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを前方に傾けてください。
- 制御システムが音を鳴らすまでジョイスティックを後方に傾けてください。
- ジョイスティックをリリースすると長い信号音が鳴ります。
- これで車いすがロック解除されました。

2.8 座席の機能

2.8.1 全てのモデルの座席に適用されるわけではありません

座席によっては、操作パネルのジョイスティックを使って電源機能をコントロールできます。一部のモデルは3つの座席位置を記録することができます。座席の調整装置は記録されたそれぞれの位置を保管しています。これで事前に保存した座席位置を再現することが簡単になります。

2.8.2 座席の操作

1. 座席機能アイコンが操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードパドルスイッチを前方に1回以上押してください。
2. ジョイスティックを左右に動かして座席機能を選択します。選択された座席機能のアイコンがディスプレイ上に表示されます。
表示されるアイコンは、シートモデルと利用可能な機能によって異なります。
3. 機能をアクティブ化するにはジョイスティックを前後に動かします。



通知

Mシンボル

Mシンボルが座席のアイコンと一緒に表示された場合、メモリー機能が有効になっています。ジョイスティックを左右に動かして代わりとなる座席機能を選択します。

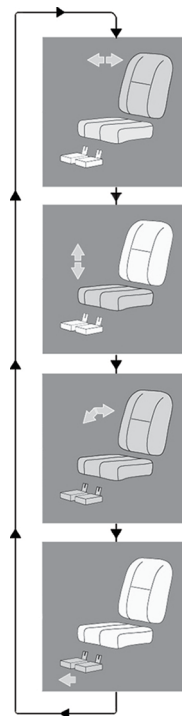


図 55. ジョイスティックを左右に動かして機能を選択します。選択された座席機能のアイコンがディスプレイ上に表示されます。

2.8.2.1 運転モードに戻ります

速度計付きの標準ディスプレイの画像が操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードパドルスイッチを前方に1回以上押してください。



図 56. 速度計付きの標準ディスプレイ画像。

2.8.3 メモリー

2.8.3.1 メモリーから位置を取得する

一部の座席制御システムは3つの座席位置を記録することができます。座席の調整装置は記録されたそれぞれの位置を保管しています。これで事前に保存した座席位置を再現することが簡単になります。

1. 座席機能アイコンが操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードパドルスイッチを前方に1回以上押してください。
2. ジョイスティックを左右に動かして記録された位置(M1、M2またはM3)を選択してください。座席アイコンと選択された記録済位置用のメモリーシンボルMが操作パネルのディスプレイ上に表示されます。
3. ジョイスティックを前に動かしたままにします。座席は以前に保存された位置に調整されます。安全上の理由から、座席が必要な位置に完全に調整されるまで、ジョイスティックを前方に保持する必要があります。座席が保存された位置になると、移動は停止します。



図 57. メモリー機能が有効化されました。



通知

ジョイスティックを放すとシートが止まります

ジョイスティックを放すと、座席の動きが止まります。

2.8.3.2 運転モードに戻ります

速度計付きの標準ディスプレイの画像が操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードパドルスイッチを前方に1回以上押してください。

2.8.3.3 メモリーに座席位置を保存する

1. 座席の電力機能を好みの位置に設定します。
2. 作動していない場合は、操作パネルディスプレイにシートアイコンが表示されるまで、「モード」パドルスイッチを1回以上前方に押してシート/メモリ機能を作動させます。
3. ジョイスティックを左右に動かして記録された位置 (M1、M2 または M3) を選択してください。座席アイコンと選択された記録済位置用のメモリーシンボルMが操作パネルのディスプレイ上に表示されます。
4. 保存機能を有効化するにはジョイスティックを後方に動かしてください。メモリーシンボルMの横に矢印が表示されます。
5. 現在の位置を保存するには、ジョイスティックを前方に動かし、メモリーシンボルMの横にある矢印が消えるまでその位置に保持します。

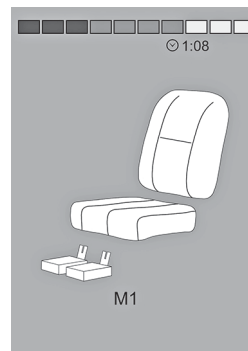


図 58. メモリー機能が有効化されました。

2.8.4 運転モードに戻ります

速度計付きの標準ディスプレイの画像が操作パネルのディスプレイに表示されるまでモードパドルスイッチを前方に1回以上押してください。

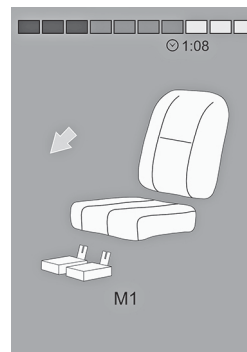


図 59. 保存機能が有効化されました。

www.permobil.com

permobil

336774 jpn-JP